

事業所における自己評価結果（公表）児童発達支援

公表 令和 6 年 3 月 2 9 日

事業所名 みらいサポート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・都度、環境を見直しています。 ・療育に不要なものは全て棚の中に収納し、部屋を広く使えるようにしています。	
	②	職員の配置数は適切である	6		・利用児人数によって調整しています。	・時間や業務内容等無理のないよう、業務の改善に取り組んでおります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		・活動に集中しやすいように、支度スペース、課題スペース等構造化しています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・玩具の消毒、掃除を毎日行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6		・業務の見直し、打ち合わせを行っています。 ・毎回話し合いに参加できなくても共通理解が図れるよう、打ち合わせや連絡帳の回覧などを行っています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・すぐに改善できるよう心掛けています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		・当事業所のホームページで自己評価並びに保護者の方の評価を公表しております。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		・現在は、保護者の方の評価と社内評価のみですが、必要があれば、外部評価の実施を検討いたします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	3	・他の事業所を見学し、研修を受けています。 ・パート職員は研修に参加することが難しいのですが、参加者から内容を教わる機会を作っています。	・外部研修の参加や内部研修により支援の質を高めるよう努めています。 ・研修に参加した際は、内容等をまとめ、職員で共有し、支援に活かしていきたいと思っています。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・子どもや保護者に寄り添った支援を行っています。	・利用に際しての見学時に保護者面談を行い、ニーズを把握し、個別支援計画を作成していますが、発達検査の結果等でも発達状況を把握し、支援計画に活かしてまいります。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・計画書を見返しながら、支援を行っています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・様々な方の意見を盛り込んでいます。 ・職員同士で意見を出し	・幼稚園の先生の意見やお子様の思いを汲み取り、楽しみながら活動し、苦手なこと

関係機関や保護者との連携					合い行っています。	にもチャレンジできるようなプログラムを考えております。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・同じ内容にならないよう意識し、様々な自立課題や運動遊びなどを取り入れています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		・計画通りにならないこともありますが、臨機応変に対応しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・十分な話し合い情報共有をしています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	・記録をして次の支援に活かせるようにしています。 ・途中で退勤する職員は、支援終了後の打ち合わせに出られないが、内容の共有を図っています。	・職員全体でお子様の姿や課題について共通理解を図ることができるよう、個人的に伝えたり、アプリ内に記録したりするなど工夫していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・記録の振り返りを習慣し、翌日、または次回に活かしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		・半年に一度、お子様の現状を考慮し、モニタリングを実施しております。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	5		・必要な時に連携が図れるようにしてまいります。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・保護者の方の要望や状況に応じて、情報共有を図っています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・保護者の方の要望や状況に応じて、情報共有を図っています。 ・幼稚園の敷地内で療育を行っているため、療育的視点と集団生活の置ける視点と合わせて情報共有を行っております。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		・定期的に臨床心理士が来所し、助言を受け、支援の向上を図っています。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6		・幼稚園と連携し、療育の観点から保育活動の支援を行っています。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5		・児童発達支援事業所の定期的な連絡会に出席し、子ども部会等の情報を得ています。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・療育終了後、保護者へのフィードバックをする時間を設けています。 ・面談の機会を設けるなど、子どもの状況や課題について共有するよう努めています。	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	・相談があった際は、職員間で話し合い、アドバイスができるようにしています。	・保護者の方からの相談に対して、現在のお子様の様子を踏まえた接し方等を提案させていただきました。
保	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時に丁寧な説明を心がけております。	

	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・モニタリング時に確認していただき、同意を得て、保護者方と支援方法を共有しております。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・必要に応じて都度行っています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		・保護者の方の要望を伺いながら、今後検討しています。	・年に1～2回の保護者会を検討しています。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・児童発達支援責任者を中心に対応しています。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・毎月お便りを発行し、活動内容や予定等周知しています。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6		・書類は、鍵のかかる書庫で管理しています。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・わかりやすい言葉で簡潔に伝えるよう配慮しています。 ・言葉だけではなく絵カードや画像等を用いて視覚的に伝えるようにしています。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		・同じ法人内の幼稚園の夏祭りや芋ほりなどに参加し、地域の方との交流を行っています。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・マニュアルに沿った訓練を行い、毎月のお便り等でお知らせしております。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・2か月に1度、避難訓練を実施し、安全への意識を高めています。	・みらい幼稚園の避難訓練に参加し、また、事業所のみでの火災、地震等の訓練を行っております。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		・契約時に情報を共有しています。 ・服薬については、保護者との連絡帳で確認しています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		・契約時に情報を共有しています。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・事例集を作成し、都度話し合って改善できるようにしています。	・ヒヤリハットの事例集を職員で共有し、危険な個所の確認や対応の仕方等も考えてまいります。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・講師を招いて、虐待防止についての研修を受けています。 ・研修に参加していない職員も、ということが虐待になるか指導を受けています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	4	・現時点では拘束の必要性はないと感じますが、衝動性強いお子さまには、危険回避のための身体拘束について説明し、同意を得ています。	・対象のお子様がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。